公共空間利活用プロジェクト企画チーム プロデュース企画
ハコノウエひろば実験イベント2「わころんだ」　検証結果

トライアル企画

（1）概要

- 広場の使い方や条件（野外音楽、キッチンカー、トイレ・水道、車の乗り入れ、周知方法）を検証する。
- 参加者はふらっと来ても楽しめ、参加者同士がふれあえる場にする。
- 企画メンバーの知人や市民団体と連携し、広場の使い方をゾーン別に企画する。

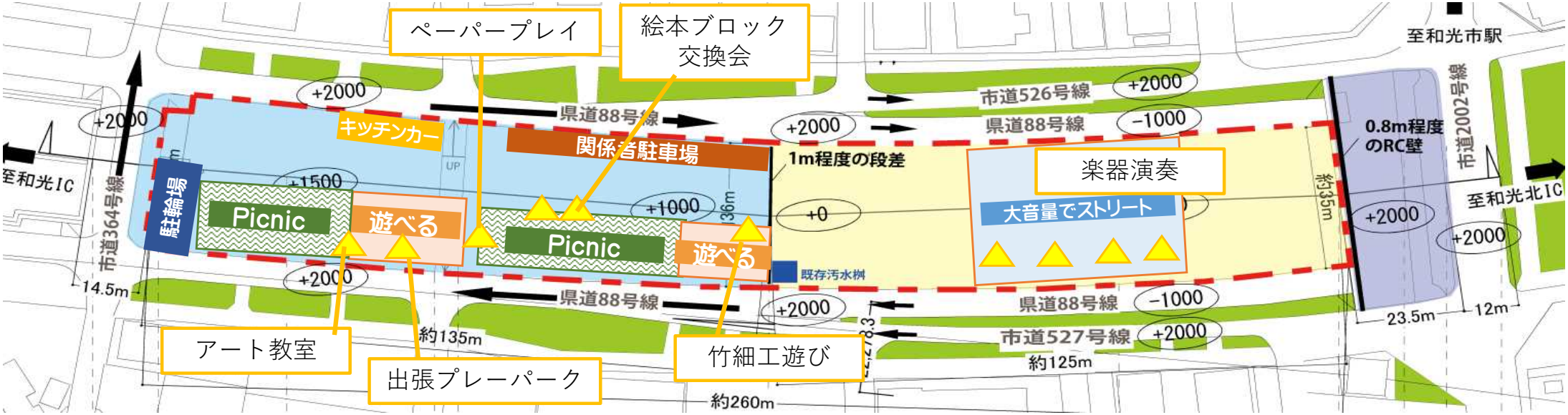
企画名　：ハコノウエひろば実験イベント2「わころんだ」
開催日　：令和６年５月１９日(日)１１：００～１６：００
参加者　：約５００人
内　容　：①音を出してもいいゾーン
・大音量でストリート〇〇（楽器演奏、弾き語り、声だし、漫才、DJ）
②遊べるゾーン
・出張プレーパーク（水風船、道遊び、パラバルーン）
・竹細工遊び、紙芝居
③ピクニックゾーン
・アート教室、ピクニック（貸出ゴザ）
・絵本、レゴブロックの寄付・持ち帰り会、
・ペーパープレイ、物販、ドリンク販売
④キッチンカー
連携団体：NPO法人 和光・緑と湧き水の会、東京紙工株式会社
和光市チームSDGs「わこサス」、NPO法人 わこう子育てネットワーク、
キッズアートスペース、森田商店、
株式会社丸善マテリアル本舗、Grande pizzaiolo Ciro

広場の使い方の検証

（1）検証内容

企画メンバーの知人や市民団体と連携し、広場の使い方をゾーン別に企画する。

＜トライアル企画の前提条件＞
- 出入り自由。広場としても通常開放する。
- ゾーン内の個別プログラムは各々タイムスケジュールを設定する。
- 参加者想定　300人
- 車の搬入出はイベント時間前後１時間の設営・撤収時間に限定する。
- 広場内駐車場の利用は関係者車両に限定する。
- テント、椅子、机は事務局からの貸出、必要なものは各自で準備し、ゴミは持ち帰る。
- 小雨中止とする。（前日12：00時点の天気予報で実施判断をする）
- 広場の草刈りは例年どおり（草刈りのタイミング　北側：２月、南側：８月・１１月）



広場のエリア分け、歩行者・車両の動線分離によってイベントは開催できる

広場の使い方の検証

①音を出してもいいゾーン「大音量でストリート〇〇」

- 楽器自由持ち込み、声出し、弾き語り、朗読、漫才、アカペラ、弦楽器、電子楽器、ダンス、DJ等
- レンタルあり（スピーカー、マイク、PAセット、DJ卓、電源（発電機）、エレキベース、アコースティックギター）
- ライブや集客が目的ではなく、土地の利用価値やできることを試す。
- この日この場所では大きな音を出しても良いという場所にする。

②遊べるゾーン「竹細工遊び、出張プレパーク」

- 地域で活動している市民団体が自由に空間を利活用する。
- 竹細工遊び（コギリ竹切体験、紙芝居）：NPO法人 和光・緑と湧き水の会
- 出張プレーパーク（水風船、道遊び、パラバルーン）：NPO法人 わこう子育てネットワーク

広場の使い方の検証

③ピクニックゾーン

- キッチンカーで購入した食べ物や持ち込んだものを食べたりイベントに参加したりしながら、ほっと一息つける場。
- 貸出ござ：地域のたたみ屋さん提供のリサイクルゴザを自由に敷いて、開放的な空間を過ごす。
- そらよみヤミー＆Pass The Bricks：読まなくなった絵本、遊ばなくなったレゴブロックの寄付・持ち帰り。
- アート教室：アルミのさじづくり。市内で活動する造形教室を青空の下で開催する。
- ペーパープレイ：紙を使った遊びの提案。輪投げ、紙製品物販、ドリンク販売をする。

（2）実証実験の結果

- 空間をゾーン分けし、地域の市民団体に自由にお任せしたことがよかった。広場の認知や使い方の情報提供、各市民団体の活動を発信する場になった。人が人を呼び、市民団体が複数関わったことで横のつながりや他のゾーンへ流れる動きが生まれ、相乗効果があった。
- 自由な企画の中でも、全体的に子ども向け・ファミリー向けの企画に偏った。
- 「大音量でストリート〇〇」では、プロの演奏家のコラボも生まれたが、プロと素人、異なるジャンルの共存は難しかった。ターゲットに応じて時間やエリアは分けた方が気持ちよく参加できることがわかった。
- オープンスペースだったため、通りすがりの人でもふらっと参加しやすい雰囲気で実施できた。
- 出入口は１カ所で、外周はフェンスで囲われており、子どもたちが無邪気に遊ぶ姿を大人は安心して見守れる環境だった。道路と接近しているにも関わらず、広場はすり鉢状にレベルが下がっているため、居心地よく過ごせた。
- トイレ・水道がないことよりも、イベントへのポジティブな反応が大きく、場所のポテンシャルがわかった。
- 駅側からの動線があれば、より集客が見込める可能性があった。
- くもり時々小雨だった。屋外イベントには日よけや雨除け用のテントは必須だった。

イベントの目的やターゲット設定に応じて条件は検討

野外音楽を検証

（1）検証内容

広場内で大音量を発生させ、周辺環境への騒音や影響を把握する。

• 騒音測定の方法

用意するもの：スマホアプリ「デシベルX」、測定用紙、連絡用スマホ、コンベックス

⑴　広場内で野外ライブに適した音量を探り、音源スピーカーから5mの音圧レベルを測定する。

⑵　⑴の音量で、広場外の測点を計測する。計測者は測点に移動し、音源とタイミングを合わせて計測する。

⑶　1～6測点で⑵を繰り返す。

※公共文化施設の音圧規制：90ｄB（平均音圧レベル）最高110ｄB（2時間演奏10分以内）

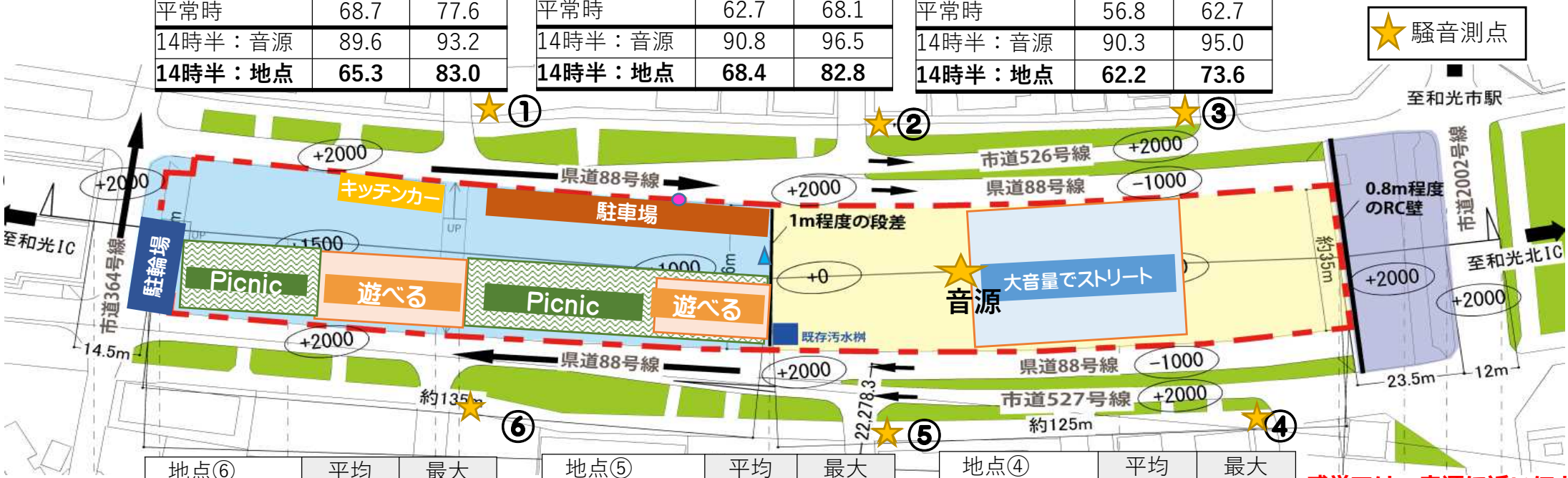
スマホアプリ「デシベルX」

（2）騒音測定

地点①	平均	最大
平常時	68.7	77.6
14時半：音源	89.6	93.2
14時半：地点	**65.3**	**83.0**

地点②	平均	最大
平常時	62.7	68.1
14時半：音源	90.8	96.5
14時半：地点	**68.4**	**82.8**

地点③	平均	最大
平常時	56.8	62.7
14時半：音源	90.3	95.0
14時半：地点	**62.2**	**73.6**



地点⑥	平均	最大
平常時	66.9	77.1
14時半：音源	89.6	93.2
14時半：地点	**64.4**	**74.5**

地点⑤	平均	最大
平常時	62.1	73.0
14時半：音源	90.8	96.5
14時半：地点	**63.2**	**66.7**

地点④	平均	最大
平常時	57.4	63.0
14時半：音源	90.3	95.0
14時半：地点	**56.5**	**61.7**

感覚では、音源に近いほど明らかにうるさかったが、期待しているデータは得られなかった。

野外音楽を検証

（3）イベント参加者の反応（アンケート結果）

項目	件数	内容
野外音楽への意見（選択式）	44	• 全体の約8割が野外音楽イベントに向いている場であると回答。 • 広場内で活動エリアを分ける検討は必要。
電子アンケート（自由記述）	3	• 音を楽しむ場としては交通量が多く車の騒音が両サイドからあるので不向きな場所だと感じる。 • DJブースが子供も親も楽しかった。選曲も良かった。 • 音楽もこどもや市民が歌う場があまり無いのでとてもいいと思う。

（4）周辺住民の反応

項目	件数	内容
警察へ通報	1	• 広場で何かやっている。音がうるさい。
市役所へ問い合わせ（電話）	3	• 音がうるさい。音を小さくしてほしい。 • 音楽はいいが叫び声はやめて欲しい。 • ピアノ教室やオンライン会議等、窓を閉めても仕事に影響がある状況だった。 • 太鼓やマイク・スピーカーを使うようなイベントはやらないでいただきたい。 • 広場の活用としてイベントはやってもらっても構わない。
市役所へ問い合わせ（ホームページ）	3	• いろんな雑音が混ざった不協和音が聞こえてくるのは、ストレスを感じる。 • 雨戸などを締め切ってもあまりにもうるさい。 • プロの演奏ならまだしも、子供の叫び声がマイクを通して聞こえるのは、緊急時の防犯ブザー音をかき消したり、「イベントやってるから」と注意を逸らしてしまうなど、危険がある。 • 開催場所を屋内にするか、事前に周辺にチラシを配る等配慮をしてほしい。 • 同様のイベントが毎週続くようでは、この地域には住めない。 • スピーカー越しの騒音がなければイベント開催は賛成。 • 会場内に音楽を流すくらいであれば、周辺住民は気にならない。

＜結果＞
- イベント参加者からはポジティブな回答が多く、広場内で活動エリアをわけることは効果的だった。
- 周辺住民からの反応は、広場西側の音源近くから多くあり、地域で偏りがあった。
- 広場南側は、側道と歩道の境界に樹木等で騒音対策がされており、車の走行音の方が大きい印象だった。

野外音楽の可能性はある、音の向きや種類は周辺住民へ配慮した検討を継続

キッチンカーを検証

＜概要＞
- 出店内容：ラーメン１台、ピザ１台
- 出店時間：11：00～16：00　出店料：無料
- キッチンカーの募集案内は和光市商工会を通じて１カ月前から募集。（希望はスイーツ系２台、食事系１台）
- 会場内に電気設備・水道設備・排水設備はない。発電機等は各事業者が用意する。
- キッチンカー設置場所の地面の汚損防止のため、キッチンカーの下に養生シートを敷く。
- キッチンカーで購入したもののごみは各事業者で回収し、廃棄処理を実施する。

＜結果＞
- 売上　ラーメン：100食、50,000円、ピザ：45食、 5,3000円
- 天気がくもりで、気温が高くなかったこともあり、ラーメンを食べる人が多かった。
- 出店料が無料だったため、価格を抑えて販売できた。出店料がある場合は商品単価を上げて販売する。
- ファミリー客が多かったため、ピザをシェアして食べる人が多かった。
- ピザはテーブル・椅子があると食べやすく、よりよい。
- 今回の実験イベント程度の集客があれば採算がとれる。目安：ラーメン100食、ピザ30食以上
- クレープやかき氷等のスイーツ系の出店はなかった。５月は人気イベントが多く、出店予定は３カ月前には募集が必要。
- キッチンカーの近くに椅子を配置した。滞留時間を延ばすことで賑わいが生まれた。

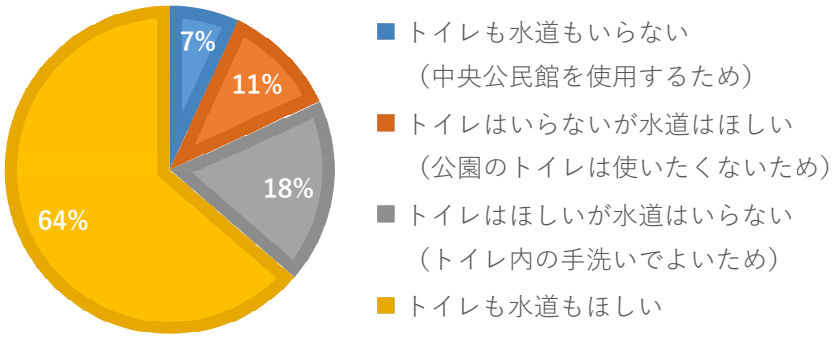
イベント規模に応じてキッチンカーの配置が可能

トイレ・水道を検証

＜概要＞
- 広場内にトイレ・水道の整備なし（イベント告知時に周知）
- 広場から最も近い公共施設 中央公民館まで片道約400m徒歩5分
- コンビニまで片道約60m　徒歩1分

案内板で周知（広場内3カ所）
「トイレ・水道はありません。中央公民館を使って下さい」

トイレ・水道の要望の割合



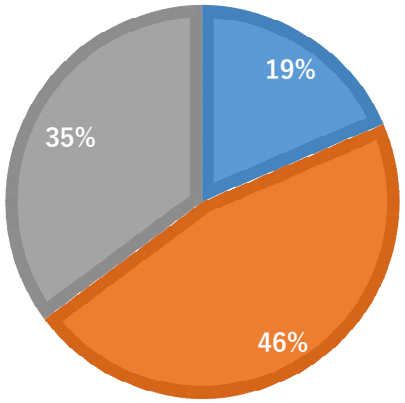
＜結果＞
- 全体の9割がトイレ又は水道がほしいと回答
- 困ったこと：けがの手当て、手洗い、衛生管理
- 前回のトライアル企画「広場でピクニックしよう」では、全体の75%が「トイレ又は水道がほしい」と回答。
- 広場の活動内容、滞在時間に応じてトイレ設備の必要の有無は異なる。

集客イベントに水道・トイレは必要、恒久的な整備の検討は継続

車の乗り入れを検証

＜概要＞
- 広場内に車両の出入口は東西２箇所
- 関係車両のみの駐車に限定（イベント告知時に周知）
- 駐車場門扉開放時間はイベント前後１時間の搬入搬出時間に基本的には限定（10：00-11：00、16：00-17：00）
- 広場内に車両誘導を配置。側道渋滞を防ぐため、側道からの右折禁止・直進での進入を協力依頼。

車の乗り入れについて意見割合



- 駐車場を開放し、車を乗り入れできようにしてほしい
- 場内利用者との接触等が危険なので、車の乗り入れはしなくてよい
- 交通量の多い道路からの出入りが危険なので、車の乗り入れはしなくてよい

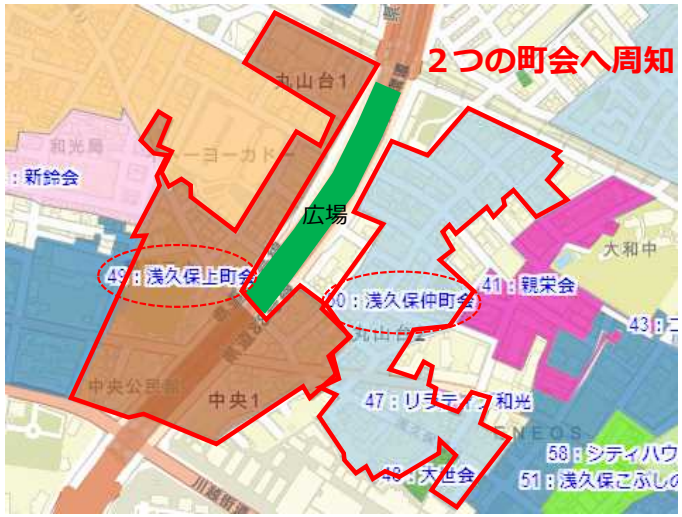
＜結果＞
- 全体の８割は広場内への車の乗り入れはしなくてよいと回答
- 「場内利用者との接触等が危険なので、車の乗り入れはしなくてよい」との回答が半数。
- 歩行者と車両の動線を物理的・時間的に分離したことで、事故なく運営できた。
- イベント中の車両の出入りは３人で誘導した。（門扉1、場内2）
- 前回のトライアル企画「広場でピクニックしよう」では、全体の８割が「車の乗り入れができてよかった」と回答。
- 広場の活動内容に応じて、車の乗り入れの必要の有無は異なる。

活動内容に応じて条件や動線分離を設定することは可能

周知方法の検証

＜概要＞
- 参加者想定　300人。
- 事前周知はSNS、市HP、掲示板、自治会を通じ、1か月前から情報発信する。
- 周辺地域への周知を目的とするため、市内全戸配布の広報紙には掲載しない。
- ゾーン別の個別プログラムは連携団体で各々情報発信する。
- イベント当日は案内看板やのぼり旗で案内を表示する。

SNSでの情報発信



自治会の回覧依頼の範囲

案内板・のぼり旗

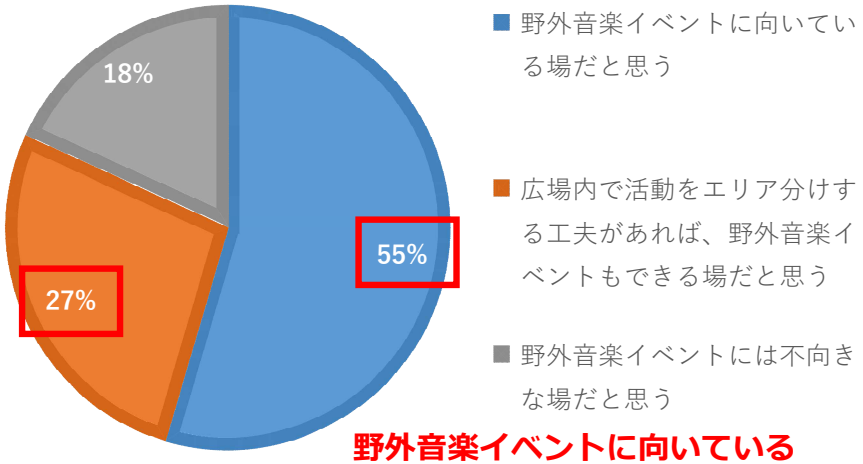
＜結果＞
- 参加者想定を上回る５００人の来場があった。
- 情報発信を市公式や連携団体のSNSで行ったことは効果的だった。
- イベント当日の案内板やのぼり旗、イベントの様子を見て参加される方もいた。
- 会場内の目立つ色のテントやのぼり旗は人を呼び込みに効果的だった。
- 周辺住民の内、自治会に加入しておらず、SNSや掲示板も見ない層には周知が及ばず、周知不足となった。
- 前回のトライアル企画「広場でピクニックしよう」では、SNSのみ1週間前からの周知で参加者は約70人だった。

イベント規模に応じて、周知期間・手段を設定。周辺住民へ騒音の周知は個別配布を検討

市民アンケート結果

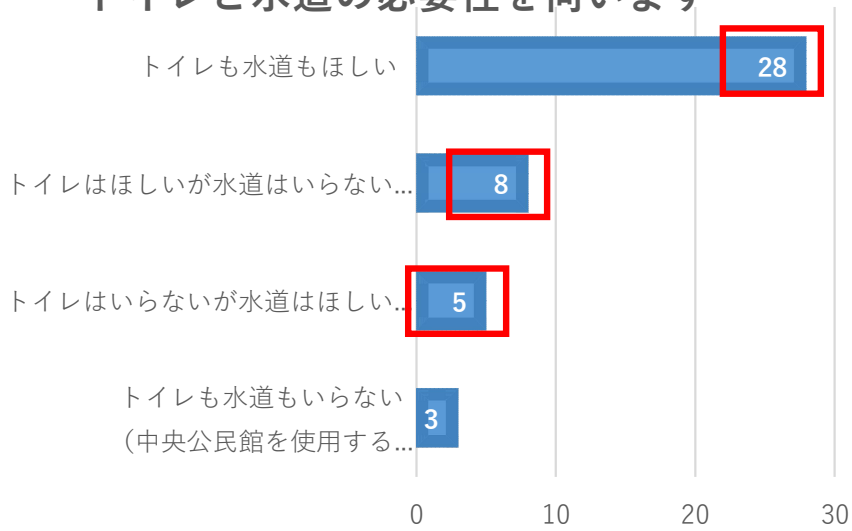
■集計期間：5月19日～5月20日　　回答数：44　　実施方法：電子申請アンケート

野外音楽への意見を伺います



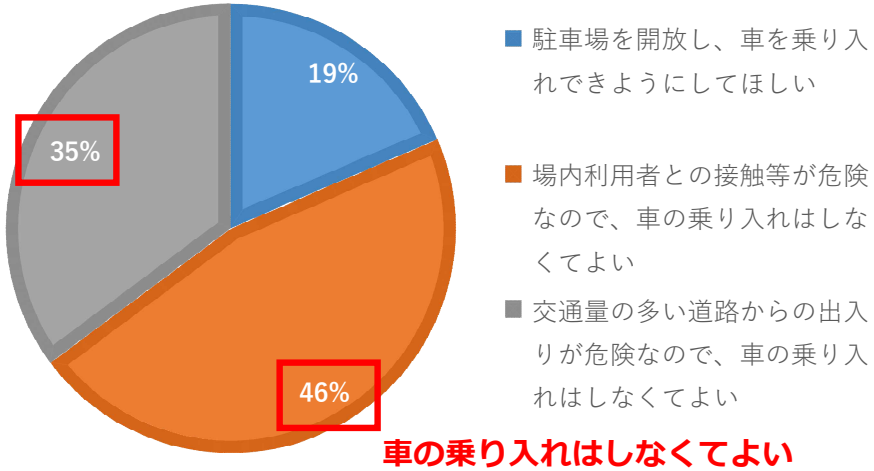
野外音楽イベントに向いている

トイレと水道の必要性を伺います



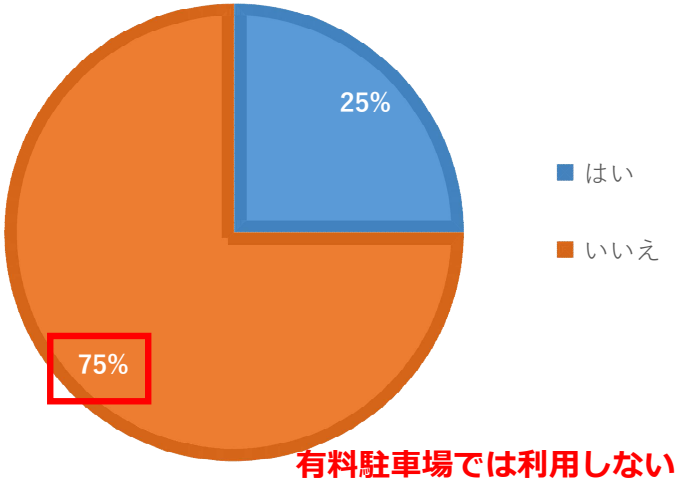
トイレ・水道はほしい

車の利用について意見を伺います



車の乗り入れはしなくてよい

駐車場が有料でも利用しますか



有料駐車場では利用しない

市民アンケート結果

■自由記述から抜粋

音	・DJブースが子供も親も楽しく、選曲もGood ・子どもや市民が歌う場があまり無いのでとても良い ・音を楽しむ場としては交通量が多く、車の騒音が両サイドからあるので不向きな場所
トイレ・水道	・一日のイベントでトイレに困り、水道がないため子どもが転んだ時の手当てができなかった ・市役所関連のイベントであるにも関わらず、衛生管理上手洗いできる場所がない ・現状の利用状況でのトイレ設備は無駄だが、遊具の設置や定期的なイベントの開催等で利用頻度が上がるなら必要 ・簡易トイレを設置するのであれば、小さな子供たちに使わせることは難しい ・トイレの場所が分からないので、一目見ればわかる地図が必要
駐車場	・駐車場エリアとイベントエリアをしっかり分けることでとても良い場所になりそう ・駐車場の入り口を工夫してほしい、3時間無料が良い
広場内の整備	・シートを敷くエリアが区分けされ、ゴツゴツとした石がそのエリアだけないとありがたい ・日除けや休憩用のテントが欲しいが、ゴザの貸出は嬉しい。置き型ハンモックなどがあると素敵 ・砂利が多いため、ベビーカーや車椅子での移動が少し大変
今後の利活用方法	・子どもたちも思い切り遊べる場所になったらすごく良い ・定期的に今回のようなイベントを開催してほしく、お金払ってでも参加したい ・駅から近いので、アルコールのイベントなどに向いていると思う ・プレーパークや越後山公園で行われているマルシェ、ダンスの発表会や地域企業を紹介するイベントなども良い ・囲いをしてボール遊びやドッグラン、花を植えたりベンチを設置して気軽に立ち寄れる場所にしてほしい ・行政主導で毎週末何かしらのイベントを実施してもいい ・こんな場所になったら皆さん行きますか？というアイディアを１０案程度上げ、市民に聞く取組みをしてほしい
イベント内容や運営	・プレーパークも子どもたちが夢中になって遊んでいて良かった ・各ブースにポップや看板があると分かりやすいし、混み合っている場合は駐輪の位置を分かりやすくした方が良い ・イベントについてあまり周知されていなかった印象 ・食べ物屋さんや体験出来る店を増やしてほしいし、小さい子と大きい子で遊ぶスペースを区切ってほしい
その他	・虫や雑草が気になった